

帝塚山学院小学校



外観

1917(大正6)年に設立し、創立100年を越える歴史と伝統のある私立小学校。大阪市住吉区に位置する校舎は、竣工から27年が経過。トイレの老朽化が目立ち、改修に至った。



トイレ入口

昔ながらの学校トイレという改修前のイメージを払拭し、明るい清潔感ある空間へと改修。入口には、意匠性にこだわった丸みのあるフォルムの洗面コーナーを設けている。



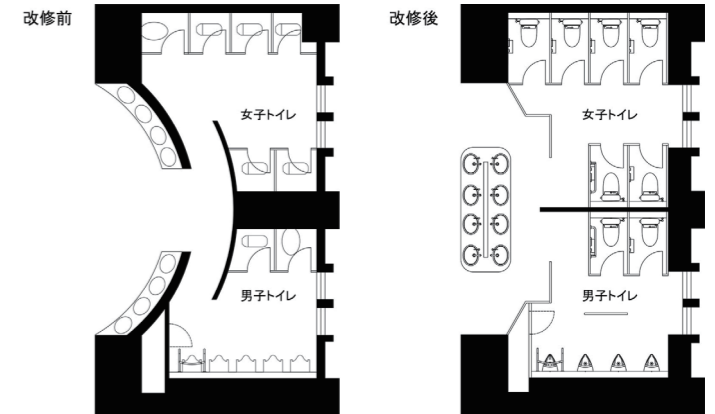
洗面コーナー



洗面カウンターは児童が使用しやすいように学年に応じて3種類の高さ(H=650mm、700mm、750mm)で設置。自動水栓と自動水石けん供給栓、電気温水器を採用し、非接触で快適な手洗いができる環境となっている。

トイレ図面

トイレ入口の洗面コーナーは、大幅にレイアウトが変更され、廊下側とトイレ側の両方からアプローチできる、アイランド型としている。



女子トイレ
大便器ブース

大便器ブースは、壁と扉の色を変えることで、空室状況がひと目でわかるよう工夫されている。



女子トイレ
大便器ブース

大便器は、連続洗浄が可能で休憩時間の混雑緩和に寄与する、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用している。



女子トイレ
大便器ブース



衛生面に配慮して、すべての大便器に「ノズルきれい」機能を搭載したウォシュレットPSを設置。トイレ使用後に毎回「きれい除菌水」でノズルを洗浄・除菌するため、清潔さを保つことができる。

水まわりの特長

改修の経緯

「帝塚山学院小学校」は、1917(大正6)年に設立、大阪市住吉区に位置する創立100年を越える歴史と伝統のある私立小学校。『高い志・豊かな感性・他への思いやり』を教学理念とし、人間力を育む教育を実践している。1998(平成10)年に新校舎となり、27年児童や保護者に利用されてきたトイレは、設備の老朽化や衛生面での課題が目立つようになり、児童が快適かつ安心して使える環境整備が求められていた。児童の声を参考に、温水洗浄便座付き洋式トイレや節水型設備、手洗い場の改善、照明や換気の見直しを行い、清潔で明るく安全なトイレへと改修。改修後は「明るく使いやすい」「においがなく気持ちいい」と好評で、保護者からも多くの感謝の声が寄せられている。

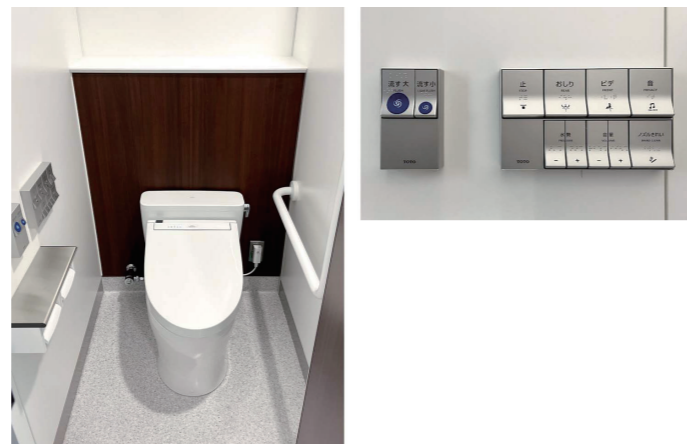
トイレの特長

改修により、全洋式化と乾式清掃化を実施。さらに、擬音装置「音姫」付きのエコリモコンを搭載したウォシュレットをすべての大便器に採用することで、女子児童だけでなく男子児童のプライバシーにも配慮している。小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。トイレ入口に設置された洗面コーナーは、トイレ・廊下双方からアプローチできるアイランド型とし、自動水栓と自動水石けん供給栓、電気温水器を設け、非接触で快適な手洗いができる。また、洗面カウンターは、児童の学年に応じて3種類の高さ(H=650mm、700mm、750mm)とした。児童や保護者、さらには受験を検討している保護者や教育関係者からも好評を博し、学校のイメージ向上につながるトイレ改修となった。



男子トイレ
小便器コーナー

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。バリアフリー配慮として、1ヶ所に手すりを設置している。

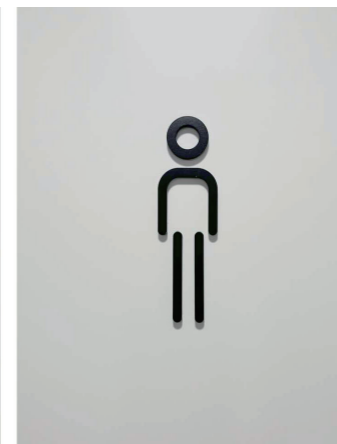


男子トイレ
大便器ブース

すべての大便器にウォシュレットPSを設置。男子トイレにも擬音装置を採用することで、男子児童のプライバシーにも配慮し、トイレ使用のためらう要因を取り除いている。



サイン



トイレサインは、白い壁に黒色のシンプルなサイン。男女の色分けをせずに、デザイン(形状)のみで男子と女子が伝わるようにしている。

建築概要

名称	帝塚山学院小学校
所在地	大阪府大阪市住吉区帝塚山中3-10-51
施主	学校法人帝塚山学院
設計	株式会社山田建築設計事務所
竣工年月	(改修)2025年3月
敷地面積	10,136.00㎡
建築面積	1,609.00㎡
延床面積	6,380.69㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造・地下1階、地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BMCKT
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
棚付二連紙巻器:YH702/自動洗浄小便器:UFS900JS
洗面器:L531/台付自動水栓:TLE26SS1A
自動水石けん供給栓:TLK07S02JA/電気温水器:REW12A1DRRSCM